

平成29年度 自己評価書

学校名	北海道登別青嶺高等学校
-----	-------------

1 本年度の重点目標

- (1) 基本的な学習姿勢を身につけ、目標を持って学力を積み上げる努力をする生徒
 (2) 自他の生命や人格を尊重し、互いに思いやり、集団の一員として適切に行動し、健全に生きる生徒
 (3) 自己理解を深め、自らの個性と適性に基づいて進路目標を確立し、自己実現を目指す生徒

2 自己評価結果及び改善方策

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
教育課程・学習指導	教育課程	生徒の実態に即した教育課程編成	C	B	次期学習指導要領に向けた教育課程について検討を行う。
		基礎・基本を大切にする指導	C	B	朝読書・朝学習の継続により、表現力を向上させるとともに、落ち着いた授業に接続させる。
	学力向上	家庭学習の促進など学習習慣の定着を図る取組の促進	C	C	
		朝読書や朝学習など朝の時間の有効活用	A	A	
	授業改善	授業規律の確立	C	C	授業規律の確立により、基礎・基本の定着と、生徒の主体性を伸ばす授業改善を行う。
		言語活動の充実や問題解決的な学習	B	B	
		観点別評価など評価の工夫	A	A	
		学ぶ意欲を喚起する学習指導の工夫	C	B	
生徒指導	規範意識	規範意識が涵養される生徒指導の推進	B	B	引き続き、継続的に指導していく。
		スマートフォン等に頼らないコミュニケーションづくり	A	A	
	自主的な主体的活動	活発な生徒会活動	B	B	生徒会行事を通し、主体的に活動できる生徒を育てる。
		部活動の充実・活性化	C	A	中学校との連携も積極的に図っていく。
	いじめ	いじめ防止に関する適切な啓発及び対策	B	A	継続して実施する。
進路指導	進路実現	上位層の学力伸長に係る取組の推進	B	A	講習、添削等により継続指導を行う。
	キャリア教育の推進と進路情報提供	保護者に対する十分な進路情報の提供	C	B	ホームページ、学校だより等のさらなる充実を図る。
		生徒との進路にかかる個別相談の充実	A	A	継続して実施する。
		系統的進路指導の推進	B	B	継続して実施する。
健康安全指導	心身の健康	生徒全員の個別面談の実施と教育相談活動の充実	A	A	「ほっと」「Q-U」等の検査結果を分析し、教育相談へと結びつけるとともに、引き続きスクールカウンセラーの活用を図る。
		スクールカウンセラーの活用による教育相談機能の強化・充実	A	A	
		特別支援教育への理解の促進	C	C	引き続き校内研修を実施する。
	美化活動	校舎内外の清掃・環境整備	B	B	生徒への美化活動の意識付けを図る。
	防災	生徒の主体的行動を高める防災意識の涵養	D	C	今年度、避難訓練等の実施内容を工夫。次年度も継続する。
信頼される学校づくり	地域連携とPTA活動の活性化	PTA便り・学校通信・HP・ライデンスクールなど発信の強化	A	A	今年度、PTAによる茶話会を実施した。今後も保護者間の意見交換等の機会を作っていきたい。
		地元中学校との情報交換、部活動などの交流	D	C	
		学校行事への参画の推進などPTA活動の活性化	C	B	
組織運営	教職員の連携強化	教職員の学校経営参画意識を持った主体的取組の前進	D	C	各分掌や学年などで、組織的な運営となるように情報共有を図る。
		教職員同士の意思の疎通と組織的運営	C	B	
		的確な反省引き継ぎなど事業・行事実施後の成果と課題の把握	C	B	
		教育課題や教育情報の共有化と共通認識の促進	D	C	職員会議、朝の打合せ等を活用し教育情報の共有化を図る。
資質向上	研修等の充実	校外での研修への参加と積極的な教科内研修の実施	D	C	研修参加教員による報告書等により、教職員全体への周知を図り、研修成果を生徒へ還元する。
		徴収金に対する適正な管理と意識改革	B	A	
		教職員と保護者との連携	C	B	
		授業観察や助言による教職員の資質向上	D	C	

3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

スマートフォンの預かり指導については生徒、保護者からも友人間のコミュニケーションづくりへ大きな効果を感じておりと評価いただいている。また、進路指導は3年間を見通したキャリア教育により国公立大学へ10名進学するなど結果を上げている。学習指導については、授業規律の確立により、生徒への基礎基本の定着を目指していきたい。次年度、地域及び保護者から信頼される学校となるように、教職員が一丸となって教育活動に邁進していく。